

素案作成における考え方

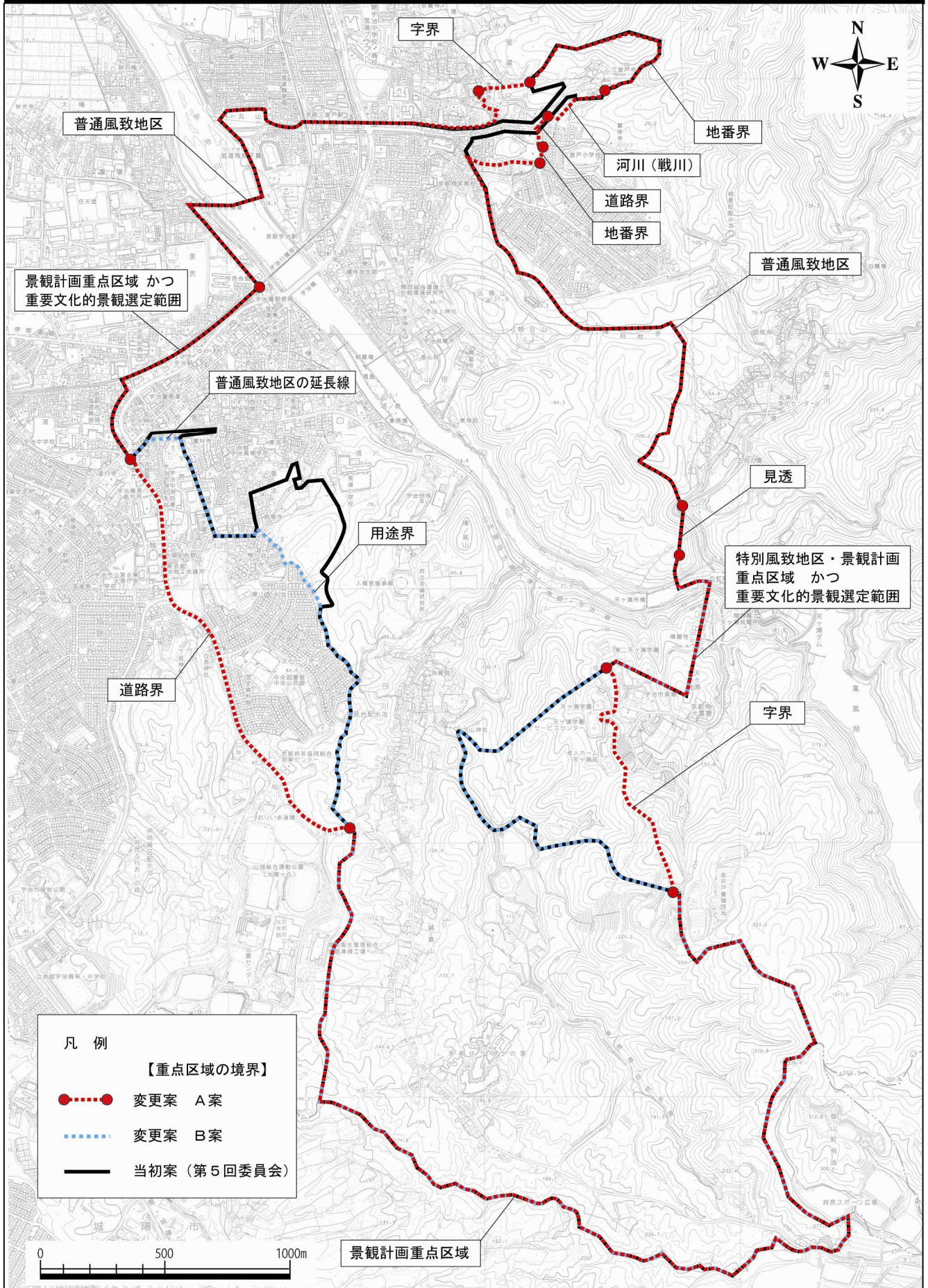
- 多くの市民の方に見てもらえるよう、できるだけページ数を減らし、文字を少なくし、写真や図を多くする。
- 当該資料だけで、本計画の流れや概要が伝わる構成にする。
- 必要なものにはルビや注釈を付ける。(作業中)

- 最終素案は、本検討委員会及び関係課による内容確認、国協議の結果を踏まえて取りまとめる。

前回資料からの変更箇所

- 1章4. 宇治市の文化財と文化活動 の文章及び写真の変更
- 2章P9 配置等を修正
- 3章3. 歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針 の(2)、(5)の文章を変更
- 3章4. 計画実現のための体制 文章及び図の変更
- 4章 範囲の変更など
- 5章 全面改訂
- 6章 全面改訂
- 7章 追加

重点区域の設定範囲に関する検討



普通風致地区

字界



地番界

河川(戦川)

道路界

地番界

普通風致地区

景観計画重点区域 かつ
重要文化的景観選定範囲

普通風致地区の延長線

用途界

見透

特別風致地区・景観計画
重点区域 かつ
重要文化的景観選定範囲

道路界

字界

凡例

【重点区域の境界】

●●●●●●

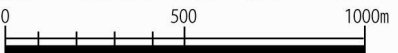
変更案 A案

●●●●●●

変更案 B案

—————

当初案 (第5回委員会)



景観計画重点区域